

Bright Any Colors (BAC)

ホワイトペーパー

概要

あらゆる人が輝くために。

一人ひとりの人生、それぞれの色でリズムカルに。

私たちは単純化できないものに価値を感じます。

複雑なものをありのまま受け入れ、違いを尊重すること。

多角的な価値観はサステナブルな社会発展に寄与する大切な要素です。

①障がい者、子ども、学生の支援を目的としたチャリティイベントを開催。

テクノロジーを活用した新しい体験と、エンタメのように楽しみながら知るきっかけづくりを提供します。

②デジタルノマド（外国人短期滞在者）や地域創生、テクノロジーを組み合わせることで、不動産（空き家）の新しい価値を創造します。

目的①

1. 社会貢献団体への安全で透明性の高い寄付のエコシステムを構築する
2. 社会課題解決に対しての団体や個人が集い、それぞれの方法で社会課題解決に寄与できる仕組みを整備し、広く一般的に広めていく
3. 社会貢献団体と web3 コミュニティ、異なる分野の関係者が集まり、アイデアや解決策が生まれる可能性を広げ、社会課題解決とテクノロジーを掛け合わせた、新しい支援方法や稼ぎ方を模索する

目的②

1. 日本の空き家問題をテクノロジーと多様性社会の活用により解決する
2. デジタルノマドや多拠点生活など新しい価値観を受け入れた居住文化を構築する
3. 空き家に新しい付加価値を加えることにより、地域関係人口の増加と地域活性化に寄与する

背景・課題

人はさまざまな一面を持ちますが、社会はそれを受け入れていません。なぜなら一元的な価値基準で測るほうが管理しやすいため、複雑さを避ける傾向にあります。複雑なものをできるだけ単純化して扱おうとすることに、一番の社会課題があると考えます。現代社会の多くの人々は既存の枠組みに縛られ、自らの意思で新しい概念やシステムを作ることを忘れていきます。

web3 テクノロジーの活用による社会変革は試行錯誤の段階ですが、個人が直接的に相互作用する自律分散型システムはボトムアップの手助けとなる可能性があります。多元的な意思決定、コラボレーションを促すテクノロジーとそれに伴う活動への支援が必要です。

人口減少という未曾有の状況にある日本社会において、障がい者や子供の健全な生活環境の構築、次世代の担い手への教育は喫緊の課題となっております。

また、地域関係人口の拡大や地域の多元的な資産の活用により、地域の活力を取り戻し、多くの人が笑顔で輝く日本を取り戻すことが重要であります。そのためには住居という生活の基礎について、多元的な視点から新たな価値を創造することが重要であると考えます。

BAC 活動の普及と発展のために、以下の三つを活動の柱といたします。

1. BAC チャリティ

障がい者・子供・学生を中心に支援活動を行う社会貢献団体の活動を支援する。一例として、BAC が開催するリアルイベントにおけるブースへの誘致やプレゼンの機会を提供するほか、SNS などを通じた情報発信により社会貢献団体の活動を多くの方に知ってもらう機会を提供するほか、BAC が寄付や協賛金を獲得することで、社会貢献団体への経済的な支援に資することを目指す。これらの実現のため、暗号資産や WEB3 のテクノロジーを活用する。

2. BAC サポート

多様なプロジェクトの WEB3、ブロックチェーン・暗号資産・DAO の活用を支援していくことで、笑顔あふれる新しい時代の資本主義・民主主義の構築に貢献する。

3. BAC ノマド

日本の空き家の活用を促進する。具体的には空き家とデジタルノマド、地方創生を掛け合わせ、さらに WEB3、ブロックチェーン・暗号資産・DAO テクノロジーを組み合わせることで、空き家の新しい価値を創造します。

BAC チャリティ

第3回BACチャリティイベント、2024年12月1日 名古屋にて開催決定！

Brigh Any Colorsは、あらゆる人が輝くために。をミッションに掲げるソーシャルカンパニー。
社会課題解決とweb3テクノロジーを掛け合わせた活動を広げていきます！



※2023年12月23日、第1回BACチャリティイベントの様子

BAC サポート

プロジェクトのDAO化をサポートします。



BAC ノマド

新プロジェクト始動！ Coming Soon！

空き家 × デジタルノマド × 地方創生



社員権トークン発行要綱（予定）

1. 発行総数 100万枚を上限とします（第1回の発行は10000枚を予定しております）。
2. 発行額 10億円以上（第1回は1枚につき1000円、総額1000万円を計画しております）。
3. 資本剰余金への組み入れ 全額を剰余金に組み入れる予定です。
4. 申込期間 第1回は2024年12月1日までを予定しております。
開始時期は未定です。
5. 払込期間 払込を申し込みの条件といたします。
6. 払込方法 銀行振込と暗号資産（ETH）を予定しております。

今回の資金調達目的

BAC チャリティ、BAC ノマド等の BAC 活動を継続、発展させていくために使用いたします。

調達資金の使用用途（計画）

1. BAC リアルイベント（BAC チャリティ）の開催経費
2. BAC ノマドにおける空き家の修繕費・改装費、維持管理費
3. BAC 活動促進のための広告費

トークン設計

●ガバナンスに関するトークン

①社員権トークン:合同会社の社員権を表章する NFT。以下の条件の下、二項有価証券に該当いたします。

特定の NFT を保有している場合のユーティリティ(権利)については別途トークン規程・DAO 総会規程等で定めます。社員権トークンの取得は、投票資格と結びつくこととなりますが、投票権利に関しては、期間の定めを設ける予定です。DEX や相対で譲渡可能とする予定です。

(ユーティリティ)

- ・ 議題提案権
- ・ 投票資格 (投票資格に関しては期間限定の権利とする)
- ・ 利益配当としての暗号資産/トークン付与(払込金額を上限)
- ・ 社員優待としてのクーポン付与(金銭評価できる場合、払込金額を上限)
- ・ 特定の金銭換算不可特典の付与
- ・ 残余財産の分配(払込金額-過去の利益配当-クーポンを上限)
- ・ 特定のフォルダーやチャンネルへのアクセス

②ボーティングトークン:購入、寄付等の経済的な価値提供もしくはユーティリティトークンとの交換で取得できるトークン (詳細は未定) です。投票メカニズムに従って、投票に用いることができる (金額の大小に関わらず、投票権は 1 人 1 票とする予定) ものです。期間の定めを設ける予定です。

(ユーティリティ)

- ・ 投票権 (期間限定)

●ユーティリティに関するトークン

リワードトークン:

経済価値の提供や貢献活動に応じて取得できるトークン（詳細は未定）。DAO が付与できる権利(空き家の利用やイベント参加、コンサルティングサービスを受ける権利などを想定)と交換できるものです。譲渡可能です。リワードトークンを現物出資することで、ガバナンストークンを取得することを予定しております。別トークンに該当いたします。

(ユーティリティ)

- ・ 空き家の利用（日数限定）
- ・ イベントへの参加
- ・ DAO メンバーによるコンサル

トレジャリー設計（計画）

暗号資産については、年間予算額を上限に「safe」を使用し、マルチシグウォレットにて管理する予定です。

なお、ハッキングの危険性を鑑み、「safe」に保管する暗号資産以外は DAO の法人名義で開設した国内の暗号資産取引所口座にて保管いたします。

日本円に関しては現状、マルチシグウォレットやスマートコントラクトでは扱うことができないので、DAO の法人名義で開設した銀行口座にて保管いたします。

メインの資産（日本円）

→暗号資産取引所口座、銀行口座、会計情報を適時公開し、保有資産は DAO メンバーは把握できるようにいたします。

議決されたものに対する支出

→提案段階にてスマートコントラクトにより暗号資産での支払いが予定されるものはマルチシグで保管いたします。

→提案段階にて日本円での支払いが想定されるものは、日本円のまま銀行預金口座に保管いたします。

会計

一般に公正妥当と認められる会計方針に従い適時正確な会計帳簿を作成します。

会計ソフト（弥生会計を予定）を使用して会計帳簿を作成し、魔法陣で税務申告する予定です。

ガバナンス（予定）

1. 初期業務執行社員・構成員

初期業務執行社員 寺本俊孝

代表社員 寺本俊孝

2. 業務執行社員・代表社員の選出（予定）

業務執行社員は以下から選任いたします。

- ①空き家を貸与した者
- ②空き家を現物出資・寄付した者
- ③一定の要件を満たすノマド
- ④一定の要件を満たす BAC 活動への寄付者
- ⑤一定の要件を満たす社会貢献団体が指名する者
- ⑥一定の要件を満たす DAO 活動に貢献する者

代表社員は業務執社員の中から規程に従い選出

3. 業務執行社員が担当する業務の範囲と責任

業務執行社員は、原則として DAO の意思決定に従って業務を執行いたします。

また、重要性が低く、会社の運営に重大な関わりをもたない日常の業務意思決定に関して DAO 総会を代表して意思決定し、円滑な会社運営に寄与します。

DAO の意思決定や業務の中で起こる問題や課題に対し、そのプロセスで法律的な問題や公序良俗に反する問題が発生した場合は、業務執行社員の権限により、その問題に介入し解決を図ります。

4. 業務執行の透明性

業務執行に関する活動内容は、適時適切に Discord 等にて公開します。

以下の場合のみ、公開されない可能性があります。

- 1) 個人情報に関わる内容
- 2) 取引先により要求される秘密情報に関わる内容
- 3) 契約・法令等により開示することが適切ではない内容

5. 業務執行の報告義務

業務執行社員は定期的に業務内容の報告を Discord 内にて行います。
方法や期日などは現在検討中です。

6. 利益相反

法令・定款等の諸規程に従い適切に対応いたします。

7. トークンホルダーの権限

トークン設計、トークン規程に記載しております。

8. 議事の管理

PDF ファイルにてクラウド上で保管し、閲覧権限がある者へ公開することにより、相互監視の効果で改ざんを防ぎます。今後、適切な管理ツールが開発された場合、DAO 総会の議決により管理方法を変更します。

9. その他

定款、総会規程、運営規程、トークン規程に従い適切な運営を行います。

使用するツールとツール設計（予定）

- ・ 投票管理として Unyte を使用します
- ・ 業務執行報告及び議論の場として Discord を使用します
- ・ トレジャーリー管理として safe、国内銀行預金口座、国内暗号資産取引所口座を使用します

詳細は今後、DAO において議論のうえ決定いたします。

ロードマップ（計画）

2024 年は自律的で分散型な運営を実現するための準備期間として必要な活動を行い、2025 年から DAO としての本格稼働を目指しております。

●BAC チャリティ

2023 年 12 月 第 1 回 BAC チャリティ（名古屋 那古野キャンパス） 終了

2024 年 4 月 第 2 回 BAC チャリティ（大阪京セラドーム）

2024 年 5 月 デザインフェスタ参加（東京）

2024 年 6 月 BAC チャリティボウリング（未定）

2024 年 12 月 第 3 回 BAC チャリティ（名古屋 ポートメッセ名古屋）

●BAC サポート

法律改正や周辺情報を収集し、適切な協力が行えるように活動いたします。

●BAC ノマド

2024 年 3 月からの 1 年間は空き家取得等も含めた準備期間と位置づけ、以下の取り組みを行って参ります。

- ・ 空き家の取得、修繕
- ・ システム開発
- ・ Web サイト等コンテンツの充実
- ・ プロモーションの促進
- ・ トークン制度のテスト運営

2025 年 4 月の本格稼働に向け 2024 年内にトークン発行（資金調達）を目指しております。